

要約 マニフェストの比較

| 項目 | 横倉候補（6月5日発表） | 石井候補（6月4日発表） |
|--------------------|---|---|
| 会員へのメッセージ | ●継続と改革～新たなステージへ～地域から国へ | ●医療の未来を守るために |
| キーワード | Action Balance Challenge | 顔の見える関係 共有する哲学 情熱と愛 |
| 医師会組織のあり方、会員の意見の集約 | ●組織強化 ●医療政策をリードし続ける組織づくり ●入会促進 ●医療再興 | ●日本医師会は医師のための職能団体 ●プロフェッショナルオートノミーに基づき、職種・立場を超えて互いを尊重して英知を結集。 ●自由な議論・意見を歓迎。多様性を尊重した民主的な合意形成。 |
| 医療費財源確保 | — | ●財源に関する議論に積極的に参画 ●国内3番目の産業であることを自覚し、日本経済の発展策、安定雇用策を政府、産業界に提案 ●健康投資ファンドを提案 |
| 地域医療構想 | ●厚生労働省と協力し、地域医療構想を策定 | ●医療法における「人口構造の変化の見通しその他の医療の需要の動向並びに医療従事者及び医療提供施設の配置の状況の見通しその他の事情を勘案しなければならない」との規定どおり、地域医師会の責任のもと再構築（法律の規定どおり、地域医師会の責任のもと、作成しなおす）。 ●季節変動、パンデミック、災害時など不測の事態における患者さんの行き場を奪うことなく、柔軟な対応能力を確保。 |
| 専門医制度 | ●現在検討されている専門医制度の延期を求める ●新たな専門医制度を検討 | ●若手医師のキャリア形成を助け、シニア医師の円滑な専門医更新を実現するために、柔軟で幅広い新専門医制度を推進 ●会員の生涯学習を連動させて充実を図り、地域医師会活動を支援 |
| 地域医療を担う医療スタッフへの配慮 | ●地域医療を支える ●かかりつけ医を中心としたまちづくり | ●中小病院、有床・無床診療所が地域社会の中でそれぞれの役割を果たすために、政策、制度を提案。 ●持ち分あり医療法人における相続・継承・後継問題を解決 ●病院のスタッフを業務集中と疲弊から守る |
| 人材育成 | ●将来の医療に資する人材育成 ●人材育成の視点に立った人づくり | — |
| 医療安全・医療事故 | ●医療事故調査制度の円滑な運営と提言 | ●医師が尊厳を持って医療を提供できる環境を目指す。 ●緊急対応時の法的責任を免除する「善きサマリア人法」の法制化 |
| 救急医療 | ●救急医療の強化 | 医療統括（メディカルコントロール）に基づく多職種連携 |
| 災害医療 | ●災害対策の強化 | ●災害医療は地域医療の延長 ●医師会の災害対応能力を強化 ●JMATを充実強化 ●災害対策本部のコーディネートにより、様々な支援チームと協働 ●オリンピック・パラリンピック、ワールドカップや多くの町おこしなど、大規模イベントを支援。 |
| チーム医療・勤務環境改善 | — | ●医療統括（メディカルコントロール）の考えを発展させ、医師の指示の下、適切な業務分担を推進し、病院内・救急現場・医療介護地域連携を充実（地域包括ケア、勤務負担軽減、へき地医療・災害時医療への対応） ●看護師・准看護師などの医療関連職種の教育研修、現場復帰やスキルアップを支援 ●休眠救急救命士を医師の統括の下で活用。 |
| 研究開発 | — | ●ITを活用した多彩なデータベース（ビッグデータやバイオバンクの適正な利活用を推進） |
| 少子化対策 | — | ●医師集団として、英知を結集して少子化対策に取り組む。 ●医療現場において、子育て世代の医師および子育てに関わりたい年長医師のために、私生活と仕事の両立が可能になる多様な職場環境を目指す。 |
| 世界医師会、国際協力 | — | ●世界医師会活動に積極的に参画。 ●健康危機、パンデミック等に対して貢献することで日本の対応能力を確保し、世界平和を希求するわが国の取組を推進。 |